

## シンポジウム 2

### 「超高齢社会・ピロリ陰性時代における上部消化管の潰瘍・出血病態の現状と課題」

司会 飯島 克則（秋田大学消化器内科）

片岡 洋望（名古屋市立大学消化器・代謝内科学）

わが国は未曾有のスピードで超高齢社会に突入し、様々な疾患構造の変化がおきてきている。ピロリ菌感染率の低下と除菌治療の適応拡大に伴い、上部消化管における多様な病態による潰瘍性病変・出血性病変に遭遇する機会も増えてきている。本シンポジウムでは高齢社会・ピロリ陰性時代の上部消化管の潰瘍・出血性病変の病態の実態をご報告いただき、その予防、診断、治療につき広く討議したい。